

## 第1回奈良県働き方改革推進協議会議事要旨

### 【使用者委員コメント】

#### <各企業での取組>

- ・有給休暇について年間カレンダーを決め計画的に取得しており、一定の効果があった。
- ・週に1回、水曜日をノー残業デーとして取り組んでいる。将来的には週2回に増やしていきたい。
- ・各店舗毎に退社時間を公表し、退社時間を早める意識付けをしている。
- ・各部署毎に月に1回ノー残業デーを実施している。また介護離職を申し出た社員に対し在宅勤務を実施した。
- ・パートから嘱託、嘱託から正社員への転換ができるようにしている。また、育児の関係で短時間勤務しかできない正社員は、逆に一時嘱託になってもらい、必要なくなったら正社員に復帰という対応をしている。
- ・5人で1チームを組み、月2回自主改善ミーティングを実施している。経営陣では気づかない意見が出ており、職場改善に繋がっている。
- ・18時退社を実施し、長時間労働せずに業績が下がらない対応を徐々に行っているところ。

#### <働き方について>

- ・若い人はたくさん働いた方が、その後本人のためになるのではないかと思う。
- ・無駄を省き、時間を短縮することで長時間労働を抑制できるのではないか。
- ・長時間労働の対策として、フレックスを利用し、休日営業の一部取り入れや、専門職の配置など適正人員の見直しが必要。
- ・勤務状況が改善した時はそれを業務成果として示し、これを継続することが大切。

### 【労働者委員コメント】

#### <各企業での取組>

- ・閑散期と繁忙期の差が激しいため、年単位や月単位の変形労働時間制度等を駆使して年間の労働時間の減少を図っている。
- ・水曜と金曜を定時退社日として設定し、計画的に仕事を進めることで労働時間を削減している。
- ・労働時間短縮のため従業員自身の意識の醸成と管理職のマネジメント力の向上が必要であり、そのために面談や管理職の研修会を実施。また水曜と金曜、賃金支払日を定時退社日と設定している。

#### <働き方について>

- ・人手不足から長時間労働が発生しているため、産業自身を魅力あるものにし、担う人材を育てていくことが重要。
- ・勤務時間内における時間内生産性を最大限に高め、時間外労働を含む労働時間短縮の取組みを推進することが必要。
- ・残業を前提とした働き方になっているため、まずは従業員の意識を変えることが大切。

### 【知事コメント】

- ・本日、皆様の意見を聞き、大変参考になった。
- ・奈良県の働き方をよくしていきたい気持ちが強くあり、皆様の意見を聞きながら勉強し、それを現場に提言することで県内事業所の働き方を良い方向に変えていくことができればと思う。
- ・今回をキックオフとし、皆様のご意見を賜りながら今後も働き方改革を進めることを追求していきたい。